

港湾空港局

一般会計要求総額
特別会計要求総額
合 計

10,507百万円（前年度比+58.9%）
5,590百万円（前年度比+24.6%）
16,097百万円（前年度比+45.0%）

【平成31年度 予算要求の経営方針】

「北九州港」と「北九州空港」という二つの「みなと」を最大限に活用し、「元気発進！北九州」プランの推進を図るとともに、「SDGs」の視点に立ち、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「北九州市新成長戦略」に掲げた施策を着実に実行していきます。

【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

（新）：新規事業、（拡）：拡充事業

1 北九州港 ～ 競争力のある港づくりの推進

要求額（一般会計、特別会計）14,935百万円（対前年度 46.8%）

●更なる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進（航路網の充実など）

アジアに近い地理的優位性や、東九州、西九州、本州の3方向に伸びる陸上アクセスの特徴を活かして、物流拠点化を推進し、戦略的なインセンティブ等により、国際コンテナ等航路誘致や、環境・エネルギー産業の拠点化等による集貨・創貨を図る。

- ・（新）新門司フェリーターミナル関連事業、（新）北九州港集貨航路誘致事業、響灘東及び新門司埋立地造成事業

●響灘地区におけるエネルギー関連産業の拠点の形成

響灘海域における洋上windファームの整備を着実に推進するとともに、風力発電に関するあらゆる機能が集積した総合拠点の形成を図る。また、洋上風力発電施設の設置に必要な基地港湾の整備を行う。

- ・（新）響灘洋上風力発電拠点化推進事業
- ・（新）洋上風力発電に係る基地港湾整備事業・（新）響灘東地区SEP基地化調査事業



北九州港を母港とする特殊作業船(SEP)
(SEP: Self-Elevating-Platform)

●市民生活を守る港づくりや港の賑わいづくり

響灘東地区処分場を整備するほか、海岸（高潮）事業などにより、市民生活や企業活動を支える港づくりを目指す。また、大型クルーズ船等の誘致により、インバウンド客などの市内への集客を図るとともに、北九州港開港130周年記念事業の実施等により、市民と協働した賑わいを創出する。

- ・（新）響灘東地区処分場整備事業、海岸（高潮）事業
- ・（新）北九州港市民PR事業、クルーズ船誘致事業



北九州港に寄港した
英国の豪華客船「クイーン・メリー2」

●港湾施設の整備及び効果的かつ効率的な維持管理

市民生活や企業活動を支える重要なインフラである港湾施設（岸壁・防波堤等）について、施設の老朽化対策や防災・減災のための必要な施設整備を行うとともに、効果的かつ効率的な維持管理を行う。

- ・（新）港湾施設整備事業（補助）、港湾施設健全化対策事業、航路泊地浚渫対策事業、（新）LED照明等導入事業

2 北九州空港 ～ 北九州空港将来ビジョンの推進

要求額（一般会計、特別会計）1,162百万円（対前年度 25.4%）

「北九州空港将来ビジョン推進強化期間」（平成28～30年度）の、福岡県と連携した誘致活動等により、空港利用者数や就航路線数など、過去最高を更新している。

これらの成果を生かし、物流・交流・産業に関する3つの将来像、また空港利用者数200万人の実現に向けて、福岡県との緊密な連携のもと、取組みを進める。

- ・（新）北九州空港航路線誘致事業、北九州空港利用促進事業
- ・（新）北九州空港航空貨物拠点化事業、（新）関門地帯認知度向上事業、北九州空港アクセス推進事業



北九州空港全景

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。